

定例工学部教授会議事録

日 時 平成28年3月9日(水) 13時15分 ~ 14時30分
場 所 中央棟 大会議室
出席者 滝澤学部長 ほかに114名
欠席者 堀切川、高、福永、吉田、岡部、大津、伊藤、藤原、服部、三原、西村、小野田、高橋(信)、村田、梅村、田中(真)、山本、田所、青木(孝)、加藤、篠原、木下、安藤(朝)、赤松、曾、周、乾、桑原、住井、田路、高橋(弘)、葛西、和田山、駒井、出江、西條、大井の各教授
外国出張等 祖山、朱、田中(仁)、李、五十嵐、吉岡、井上、スミス、コマロフの各教授

1. 新任教職員紹介

議長から、新任教職員の紹介があり、当該教職員から挨拶があった。

2. 退職教授紹介

議長から、平成27年度末で退職予定の教授の紹介があり、当該教授から挨拶があった。

3. 前回記録確認

議長から、平成27年12月9日(水)開催の定例工学部教授会議事録案について諮り、原案どおり承認した。

4. 人事異動

議長から、配付資料に基づき報告があった。

5. 審議事項

(1) 学科目名の変更について

議長から、学科目名の変更について提案があった後、三浦機械知能・航空工学科長から配付資料に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

(2) 平成27年度卒業認定について

議長から、平成27年度卒業認定について提案があり、審議の結果、これを承認した。

6. 報告事項

(1) 損傷計測学(協力講座)の移行について

議長から、損傷計測学(協力講座)の移行について報告する旨発言があった後、三浦機械・知能系主任専攻長から配付資料に基づき報告があった。

(2) 平成28年度運営会議・諸会議・教授会の開催日の変更について

議長から、平成28年度運営会議・諸会議・教授会の開催日の変更について、配付資料に基づき平成29年3月度の諸会議及び臨時専攻長会議の開催日に変更がある旨、報告があった。

(3) 青葉記念会館へのピアノの寄贈について

議長から、青葉記念会館へのピアノの寄贈について報告する旨発言があった後、中田教授から配付資料に基づき報告があった。引き続き阿部経理課長から、使用に際しての運用方法について説明があり、併せてミニコンサート等を開催するため、演者の推薦について協力依頼があった。

(4) 平成27年度東北大学総長教育賞及び工学研究科長教育賞受賞者の決定について

議長から、平成27年度東北大学総長教育賞及び工学研究科長教育賞受賞者の決定について、配付資料に基づき報告があった。

- (5) 平成27年度学生受賞者「総長賞候補者、工学部長賞・工学研究科長賞及び総長優秀学生賞受賞者」について

議長から、平成27年度学生受賞者「総長賞候補者、工学部長賞・工学研究科長賞及び総長優秀学生賞受賞者」について、配付資料に基づき報告があった。

7. その他

- (1) 学生相談の周知について

議長から、学生相談の周知について説明する旨発言があった後、植松副研究科長から配付資料に基づき、特に若手教員や学生に対して周知いただきたい旨の説明があった。

- (2) 退職教授送別会について

議長から、退職教授送別会について説明する旨発言があった後、風間教授からアナウンスがあった。

- (3) 平成28年度工学研究科等新規採用等教職員合同研修について

議長から、平成28年度工学研究科等新規採用等教職員合同研修について説明する旨発言があった後、植松副研究科長から配付資料に基づき説明があり、特に2日目の学生相談所相談員及び産業医からの講演については、全ての教職員を対象とするため、多数参加いただきたいとの発言があった。

- (4) 学振特別研究員の採択トレンドについて

議長から、学振特別研究員の採択トレンドについて説明する旨発言があった後、長坂副研究科長からスライドにより説明があった。

- (5) 平成29年度日本学術振興会特別研究員の申請支援について

議長から、平成29年度日本学術振興会特別研究員の申請支援について説明する旨発言があった後、長坂副研究科長から配付資料に基づき説明があった。

- (6) 工学研究科における論文ステータス分析について

議長から、工学研究科における論文ステータス分析について説明する旨発言があった後、長坂副研究科長からスライドにより説明があり、併せて著者の所属として研究科名を記載いただきたいこと。また、レビューペーパーを執筆していただきたいことの協力依頼があった。

- (7) 平成27年度会計実地検査について

議長から、平成27年度会計実地検査について説明する旨発言があった後、阿部経理課長から配付資料に基づき説明及び協力依頼があった。

- (8) 本学における研究費の不正使用防止に係る取組みについて

議長から、本学における研究費の不正使用防止に係る取組みについて説明する旨発言があった後、阿部経理課長から配付資料に基づき、説明及び協力依頼があった。その後引き続き長坂副研究科長から、CITI Japan プログラムを用いた研究倫理教育の実施について協力依頼があった。

以上